

## 2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月26日

上場会社名 株式会社マナビンテリアハーツ 上場取引所 東  
コード番号 7113 URL <https://www.manacs.com/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)塚田 徹  
問合せ先責任者 (役職名)取締役マーケティング部長 兼 管理部門管掌 (氏名)真鍋 光 (TEL)072(669)6771  
四半期発行情報提出予定日 2024年4月26日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年5月期第3四半期の業績（2023年6月1日～2024年2月29日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	8,489	△7.1	△232	—	△47	—	△90	—
2023年5月期第3四半期	9,139	—	△162	—	△257	—	△372	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	△10.66	—
2023年5月期第3四半期	△43.91	—

(注) 1. 当社は、2022年5月期第3四半期について四半期財務諸表を作成していないため、2023年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	14,988	2,406	16.1
2023年5月期	15,202	2,493	16.4

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 2,406百万円 2023年5月期 2,493百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年5月期の業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,677	△4.7	△74	—	130	—	86	—	10.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年5月期3Q	8,480,000株	2023年5月期	8,480,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年5月期3Q	一株	2023年5月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年5月期3Q	8,480,000株	2023年5月期3Q	8,480,000株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、社会経済活動について徐々に回復基調にあるものの、資源価格の高騰による継続的な物価上昇や円安の長期化などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

家具・ホームファッション業界におきましても、物価及び原材料価格の上昇に加え、業態を超えた販売競争の激化等により、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、社会における当社の存在意義として、“住まいのインテリアをもっと豊かに”をMissionに掲げ、お客様の日常が豊かで潤いに満ちた安らぎの空間となるよう製品の機能性と適切な品質を吟味しながらバリエーションに満ちた個性的なスタイルを追求してまいります。

営業概況といたしましては、円安に伴う食料品価格や光熱費の上昇による節約志向の高まりなどで来店客数が減少したことや、暖冬の影響で冬物商材の販売数量が低下したことにより、既存店売上高は減少しております。そのため、自社アプリやInstagramを活用した情報発信を積極的に行い、販促施策を強化いたしました。店頭では、オーダーカーテンキャンペーンや不要家具引取のポイントバックキャンペーンを行い、お客様からご好評をいただきました。引き続き、自社アプリを利用した販促施策や、プライベートブランド商品の拡充による商品力強化を図ることにより、売上高回復へと努めてまいります。

EC事業におきましては、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりや、新型コロナウイルス感染症による制限緩和に伴う外出増加などの影響で、耐久消費財（主に家具等）に対する需要が低下し、売上高の伸び率が鈍化しております。それに加えて、当社のECモールにおいて、Yahooショッピング及び楽天市場でのイベントや付与ポイントの変更があり、売上高は伸び悩んでいる状態です。このように苦戦する中でも以前からの売れ筋のダストボックスや小型の収納用品に関してははまだ売れ数は伸び続けております。また、同品種の新商品を追加で販売したところ、早々に結果が出始めておりますので、注文翌日出荷に対応するなどさらなる販売数アップを図ることにより、全体の売上向上に努めてまいります。

販売費及び一般管理費につきましては、前期に大型店を2店舗開店し、減価償却費及び租税公課が増加しておりますが、電気会社見直しによる水道光熱費の減少や廃棄物処理業者見直しによる雑費の減少に加え、広告チラシの抑制など、経費削減効果も表れたことで、前年同期を下回っております。

営業外収益、営業外費用につきましては、海外商品の輸入取引による為替変動リスクに備えて、通貨オプション取引及びクーポンスワップ取引を契約しております。これにより、当第3四半期累計期間（2023年6月1日から2024年2月29日まで）の外国為替相場の変動等に伴い、為替差益106,175千円、デリバティブ評価益106,543千円を計上いたしました。

以上の結果、売上高は8,489,408千円となり、前年同期に比べ、7.1%の減収となりました。

利益面につきましては、営業損失232,308千円（前年同期は営業損失162,306千円）、経常損失47,646千円（前年同期は経常損失257,829千円）、四半期純損失90,415千円（前年同期は四半期純損失372,390千円）となりました。

なお、当社は家具、ホームファッション販売事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比べ213,884千円減少し、14,988,360千円となりました。その主な要因につきましては、以下のとおりになります。

流動資産の残高は、前事業年度末に比べ145,831千円増加し、5,673,096千円となりました。主な変動要因は、現金及び預金297,515千円の増加、売掛金71,050千円及び商品113,548千円の減少などです。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べ359,716千円減少し、9,315,264千円となりました。主な変動要因は、有形固定資産295,460千円及び投資その他の資産44,276千円の減少などです。

流動負債の残高は、前事業年度末に比べ26,403千円減少し、3,151,251千円となりました。主な変動要因は、1年以内返済予定の長期借入金152,139千円の増加、買掛金15,086千円及びその他194,576千円の減少などです。

固定負債の残高は、前事業年度末に比べ101,012千円減少し、9,430,293千円となりました。主な変動要因は、社債70,000千円及び資産除去債務34,082千円の減少などです。

純資産の残高は、前事業年度末に比べ86,468千円減少し、2,406,815千円となりました。主な変動要因は、利益剰余金90,415千円の減少などです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期通期業績予想につきましては、2024年1月31日に公表致しました通期の業績予想の数値から変更を行っております。詳細につきましては、2024年4月26日付で公表致しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,222,514	2,520,030
売掛金	483,906	412,856
商品	2,555,853	2,442,304
貯蔵品	7,369	6,225
その他	257,620	291,679
流動資産合計	5,527,264	5,673,096
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,236,501	5,032,164
土地	2,353,182	2,353,182
その他(純額)	649,486	558,363
有形固定資産合計	8,239,169	7,943,709
無形固定資産	133,666	113,687
投資その他の資産	1,302,144	1,257,867
固定資産合計	9,674,980	9,315,264
資産合計	15,202,244	14,988,360

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	332,242	317,156
短期借入金	100,000	100,000
1年以内返済予定の長期借入金	1,352,079	1,504,218
資産除去債務	7,800	38,920
その他	1,385,532	1,190,955
流動負債合計	3,177,655	3,151,251
固定負債		
社債	900,000	830,000
長期借入金	8,093,958	8,094,941
資産除去債務	528,170	494,087
その他	9,176	11,264
固定負債合計	9,531,305	9,430,293
負債合計	12,708,960	12,581,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,000	40,000
資本剰余金	77,575	77,575
利益剰余金	2,377,660	2,287,244
株主資本合計	2,495,235	2,404,819
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△1,951	1,995
評価・換算差額等合計	△1,951	1,995
純資産合計	2,493,283	2,406,815
負債純資産合計	15,202,244	14,988,360

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	9,139,474	8,489,408
売上原価	4,788,785	4,513,711
売上総利益	4,350,689	3,975,697
販売費及び一般管理費	4,512,995	4,208,006
営業損失(△)	△162,306	△232,308
営業外収益		
受取利息	6,680	6,478
為替差益	120,745	106,175
デリバティブ評価益	—	106,543
その他	13,060	35,317
営業外収益合計	140,485	254,514
営業外費用		
支払利息	58,988	63,214
デリバティブ損失	162,072	—
その他	14,947	6,638
営業外費用合計	236,008	69,852
経常損失(△)	△257,829	△47,646
特別損失		
固定資産除却損	4,101	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8,392	—
賃貸借契約解約損	—	24,686
減損損失	—	15,332
特別損失合計	12,493	40,019
税引前四半期純損失(△)	△270,323	△87,665
法人税等	102,067	2,749
四半期純損失(△)	△372,390	△90,415



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。